

橋下氏連載についての謝罪と見解

# 週刊朝日

11|30  
2012  
370円  
井上真央

「平穩死」  
延命治療しない  
という選択

総選挙予測

# 自公280超!

民主はで壊



渡辺 祐の  
ミュージック・  
サプリメント



WATANABE TASUKU  
自称「街の陽気な編集者」。東京のFM局J-WAVE「Radio DONUTS」では番組DJも担当中の53歳

テップンのスタンダード3枚組。  
「日本の恋と、ユーミンと。」

名曲またはスタンダードの条件とは、生まれながらにして佳曲であることはもちろんですが、時代に流されず、記憶のひだに埋もれず「いまに残る何かがある」とこととっていいでありましょう。そういう意味で、3枚のCDに収録された45曲のオリジナル、まったく知らない曲がないんだから凄い。あれ、これあんまり聴いたことないかもな……と思ってもサビまで行けば「あー知ってる！」といった具合なのです。

そう、デビュー40周年を迎えた松任谷由実さんの「ユーミン史上究極ベスト」という惹句が躍る「日本の恋と、ユーミンと。」

資料には、松任谷さん自身も「作者からすると少し面白いこのタイトル」と書かれています。続けて「主人公はいつも（聴き手の）あなた自身なのです」と綴っていらっしゃる。誰かの恋＝「いま」に残る曲であれという想い、名曲の理想を望み、叶えた40年。

このアルバムを聴いて、まさにリフレインが叫んでる。そういえばしばらく音楽から離れちゃってたなあ、なんていう方にこそオススメかもしれません。



日本の恋と、ユーミンと。

Y30

松任谷由実「日本の恋と、ユーミンと。」  
（発売中／EMIミュージック・ジャパン）  
3枚組全46曲。その46曲目にはプロコル・ハルムとアビーロードスタジオで共演した新録「古い影」を収録

今週のおかえりなさい情報

90年代に活躍、コアなロックファンの間では伝説となっていたバンド、GREAT3が、若き新バンドを迎えて再稼働。9年ぶりのアルバム「GREAT3」を21日発売

構成(52～54ページ)/長沢 明(+code)

ツウの一見

いまこそ見返す意味がある、傑作ドキュメンタリー

阿賀に生きる



映画研究家 阿部マーク・ノース  
ミシガン大学教授。アメリカの日本映画研究者。「阿賀に生きる」とその続編「阿賀の記憶」の字幕翻訳を担当

1992年に佐藤真監督が撮った作品です。日本でドキュメンタリー映画として画期的なロードショー公開を実現し、国内外の映画祭で最高賞を次々と受賞しています。僕は英語の字幕翻訳を担当しました。

舞台となる阿賀野川流域は1965年に新潟水俣病が発生した場所です。監督たちは阿賀に小屋を借りて、3年間、集団で暮らしながら映画を撮りました。撮る側が対象に近づき、対象の側から考えるこの手法は日本のドキュメンタリーの伝統的なスタイルで、観る人が対象に共感しやすい効果があります。そこにある対象をそのまま写す。観察型が主流のアメリカには

ない、非常に珍しいものです。佐藤監督は水俣病をダイレクトには撮らず、農家や漁師の暮らしを美しく描きます。そのなかでおばあさんの手がふるえる場面をとらえ、病気を表現する。ゆえに本作はひとつの事件を超えて普遍的なものになったと思います。

20年後のいま、この映画が上映されることの意味を考えました。昨年の「山形国際ドキュメンタリー映画祭」では震災を扱った作品が多かったですが、ほとんどの監督は福島を無視して東北に行きました。そして現地にまったく知らない被災者がいきなり質問をぶつけるという作品が多かったです。そのなかで僕が感銘

を受けたのは福島を扱った「相馬看花」と「無人地帯」です。どちらも「阿賀」と同じように対象に近づき、長い時間をかけて撮ったものです。集団で泊まり込んで撮るようなドキュメンタリーは「阿賀」で終わってしまった。時代も変わってしまっただけで、92年当時も佐藤監督たちは本当に貧乏で、山形の映画祭に来ては宿泊費がなくて橋の下でキャンプをしていたんです（笑い）。でも本当はいつもその方法は可能はずなんです。実際に僕たちはその精神を持った作品に心を動かされた。日本のドキュメンタリストたちは再びそのことに気づいてほしいです。（聞き手・中村千晶）

2007年に49歳で急逝した佐藤真が、世界に大きな感動を与えた初監督作。ニュープリントで上映。24日からユーロスペースほか全国順次公開/115分



©阿賀に生きる製作委員会

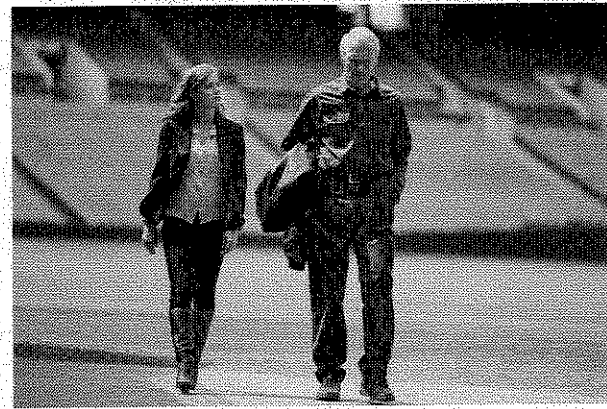
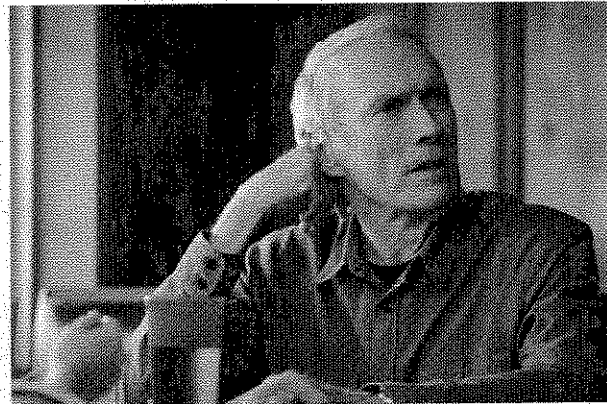
目キキ & 耳キキ

イーストウッドだけが伝えられる人生の景色

人生の特等席

スカウトマンが娘と  
キャリア最後の旅に出る

大リーグ最高のスカウトマンとして何十年も腕を振るってきたガス・ロベル（クリント・イーストウッド）だが、そろそろ年齢による衰えを隠しきれなくなってきた。そんな彼を球団はお払い箱にしようとする。今の時代にコンピュータも使わず、メールもしない頑固なスタイルを貫き、バットに当たる音だけで、それがどんな球かを言い当てられる彼は、まだまだス



©2012 WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC.

カウトマンとしての自信と誇りを失ってはいなかった。やがてガスは、キャリア最後の旅に出ることを決意する。それに手を貸したのは、父親との間にわだかまりを感じてきた一人娘のミッキー（エイミー・アダムス）。彼女は有力法律事務所所弁護士として活躍していた。早くに妻を亡くし、男手ひとつで育てようにも育てられなかった娘との旅でガスが見つけたものは？

82歳になる映画界最高峰の監督であり俳優のクリント・イーストウッドが今回は演技者として出演。監督はイーストウッドの長年の製作パートナーであり、愛弟子と言われるロバート・ロレンツ

渡辺祥子  
映画評論家



ブラッド・ピットの「マネーボール」の世界に待ったをかけ、数字と金では得られないベテラン・スカウトの目を信じる。それを理解する娘とスカウトの父の信頼の絆をいかに演出の素材さが昔のアメリカ映画のようだ。

大場正明  
映画評論家



単にスポーツとしての野球ではなく、アメリカ人の心の故郷としての野球が描かれている。また父親の故郷である南部ジョージアを舞台にした物語でもあり、モデルやダイナー、バーなどが土地の雰囲気を感じ出している。

LiLiCo  
映画コメンター



監督としても出演作品にしても近年のイーストウッドは心地が良い。優しい時間が流れます。これぞ社会の現実。頑固オヤジでいいじゃん。だってそれだけ経験と知識がある！働きすぎの娘さんにもいたく共感しました！

わたなべりんたろう  
映画ライター



イーストウッドの老いの演技は定番だし、その他の俳優も好演。だからこそ、脚本の弱さと演出のベース配分の悪さが残念。終盤の締めも良くないが、俳優引退宣言を撤回したイーストウッドの俳優復帰に星一つ追加。

◎◎◎◎超オススメ、ぜひ観て ◎◎◎なかなかGOOD! ◎◎ヒマだったら…… ◎ダメかも

FROM USA  
ハリウッド噂の先取り

★ディズニーが製作する「スター・ウォーズ」エピソード7の詳細が次第に明らかに。12部作のうちの7番目のエピソードで、中年になったルークの活躍が描かれる。ハリソン・フォードがハン・ソロ役に再登場するという噂も。「キック・アス」監督がメガホンをとり、「トイ・ストーリー3」脚本家が脚本を執筆する予定。2015年夏に全米公開される。

いま、全米でヒット中の映画は？ (11月第2週)

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1 新 007 / スカイフォール               | 007製作50周年を祝う第23作   |
| 2 新 シュガー・ランジェ                   | ゲームの人気キャラ大集合のCGアニメ |
| 3 新 フライト                        | デンゼル・ワシントン最新作      |
| 4 新 アルゴ                         | アカデミー賞有力。日本でも公開中   |
| 5 新 96時間 / リベンジ                 | 今度は誘拐された両親を娘が救出?   |
| 6 新 Here Comes the Boom         | 学校の先生が総合格闘家に転身?    |
| 7 新 クラウド アトラス                   | 豪華キャスト出演の一大SF絵巻    |
| 8 新 Pitch Perfect               | 大学のアカペラ部で新人が大奮闘    |
| 9 新 The Man with the Iron Fists | タランティノ製作の異端アクション   |
| 10 新 モンスター・ホテル                  | 日本でも公開中のCGアニメ      |

文・芳賀 健 ●映画ライター。個人サイト「オスカーノユクエ」  
<http://oscar-no-yukue.com/>も運営